SNMP でコントロール プレーンに対して適用さ れるクラス ベースの QoS 詳細を抽出する

内容

<u>概要</u> <u>前提条件</u> <u>要件</u> 使用するコンポーネント <u>手順</u> <u>追加情報</u> 関連情報

概要

このドキュメントでは、簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)を使用するコントロールプレー ンに適用されるクラスベースQuality of Service(QoS)の詳細(CISCO-CLASS-BASED-QOS-MIB)に 関連するさまざまな値を抽出する方法について説明します。

前提条件

要件

- CiscoデバイスからSNMP管理情報ベース(MIB)をポーリングするUNIXベースのオペレーティングシステム上で実行されるNet-SNMPまたは類似のコマンドラインベース(CLI)ユーティリティ。Net-SNMPは、ここからダウンロードできるサードパーティのオープンソースユーティリティです。
- •コントロールプレーンポリシング(CoPP)が設定されていることを確認します。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco IOS[®]ソフトウェアリリース12.0(3)T以降
- Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ
- Cisco SNMP オブジェクト ナビゲータ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています 。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的 な影響について確実に理解しておく必要があります。

手順

1. 次の出力例に示すように、コントロールプレーンのifindex(1.3.6.1.2.1.2.2.1.1)を取得します。

show snmp mib ifmib ifindex | include Cont

Control Plane: Ifindex = 268 次の例に示すように、SNMPを使用してこれを実現することもできます。 UNIX #snmpwalk -v2c -c

IF-MIB::ifDescr.268 = STRING: Control Plane

この出力では、ifIndexが268であることに注意してください。

2. ルータの対応するIfIndexのcbQosIfindex(1.3.6.1.4.1.9.9.166.1.1.1.1.4)を取得します。 UNIX # snmpwalk -v 2c -c

1.3.6.1.4.1.9.9.166.1.1.1.1.4 | grep -i **268**

SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.166.1.1.1.1.4.225 = INTEGER: 268 cbQosPolicyIndex (1.3.6.1.4.1.9.9.166.1.1.1.1.1)は225です。

3. cbQosCMName(1.3.6.1.4.1.9.9.166.1.7.1.1.1)は、ルータに設定されているクラスマップの 名前を取得するMIBオブジェクトです。これにより、インデックスで設定されたさまざまな クラスマップの出力が得られます。たとえば、 cbQosConfigIndex(1.3.6.1.4.1.9.9.166.1.5.1.1.2)などです。 UNIX #snmpwalk -v2c -c

例

UNIX # snmpwalk -v2c -c

```
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.166.1.7.1.1.1.1593 = STRING: "class-default"
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.166.1.7.1.1.1.274033342 = STRING: "CoPP-IMPORTANT"
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.166.1.7.1.1.1.280880137 = STRING: "CoPP-Match-all"
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.166.1.7.1.1.1.321645237 = STRING: "CoPP-NORMAL"
SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.166.1.7.1.1.1.347132543 = STRING: "CoPP-CRITICAL2"
```

SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.166.1.7.1.1.1.373457077 = STRING: "CoPP-BAD"

SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.166.1.7.1.1.1.383240351 = STRING: "CoPP-CRITICAL"

強調表示されている値274033342はcbQosConfigIndexです。

4. cbQosConfigIndexを使用して、特定のクラスマップの cbQosPolicyIndex(1.3.6.1.4.1.9.9.166.1.1.1.1)および cbQosObjectsIndex(1.3.6.1.4.1.9.9.166.1.5.1.1.1)を取得します。このステップの例は、クラ スマップCoPP-IMPORTANTをモニタする方法を示しています。 UNIX #snmgwalk -v2c -c

次の出力で274033342(ステップ3で取得したハイラ**イト値)を検索**し、OID(オブジェクト識 別子)の出力を取得します。 UNIX #snmpwalk -v2c -c

例

UNIX# snmpwalk -v2c -c

SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.166.1.5.1.1.2.225.131072 = Gauge32: 274033342 <<<< Match these value

cbQosConfigIndexは274033342、cbQosPolicyIndexは225、cbQosObjectsIndexは131072。 ポリシーマップから特定のデータをポーリングするためのさまざまなオプションがあります。

- +— -R カウンタcbQosCMPrePolicyPktOverflow(1)

- +— -R カウンタcbQosCMPrePolicyByteOverflow(4)

- +— -R ゲージcbQosCMPrePolicyBitRate(7)
- +— -R カウンタcbQosCMPostPolicyByteOverflow(8)

- +— -R ゲージcbQosCMPostPolicyBitRate(11)

- +— -R— Counter64 cbQosCMDropByte64(17)
- +— -R ゲージcbQosCMDropBitRate(18)
- -R カウンタcbQosCMNoBufDropPkt(20)

たとえば、cbQosCMPostPolicyBitRate (1.3.6.1.4.1.9.9.166.1.15.1.1.11)は、「QoSポリシー実行 後のトラフィックのビットレート」をポーリングするオブジェクトです。

UNIX **#snmpwalk -v2c -c**

SNMPv2-SMI::enterprises.9.9.166.1.15.1.1.11.225.131072 = Gauge32: 12000 !--- Match this from the output taken from the router for verification. 次のshow policy-map control-plane input class CoPP-IMPORTANTコマンドの出力は、 snmpwalkとルータカウンタの値を照合するために、ルータからの抜粋を示しています。

Router # show policy-map control-plane input class CoPP-IMPORTANT

Control Plane

Service-policy input: CoPP

Hardware Counters:

class-map: CoPP-IMPORTANT (match-all)

Match: access-group 121

police :

10000000 bps 312000 limit 312000 extended limit Earl in slot 1 : 2881610867 bytes 5 minute offered rate 13072 bps aggregate-forwarded 2881610867 bytes action: transmit exceeded 0 bytes action: drop aggregate-forward 13248 bps exceed 0 bps Earl in slot 2 : 0 bytes 5 minute offered rate 0 bps aggregate-forwarded 0 bytes action: transmit exceeded 0 bytes action: drop aggregate-forward 0 bps exceed 0 bps Earl in slot 3 : 0 bytes 5 minute offered rate 0 bps aggregate-forwarded 0 bytes action: transmit exceeded 0 bytes action: drop aggregate-forward 0 bps exceed 0 bps Earl in slot 5 : 0 bytes 5 minute offered rate 0 bps aggregate-forwarded 0 bytes action: transmit exceeded 0 bytes action: drop aggregate-forward 0 bps exceed 0 bps Software Counters: Class-map: CoPP-IMPORTANT (match-all) 16197981 packets, 3101873552 bytes 5 minute offered rate 12000 bps, drop rate 0000 bps Match: access-group 121

police:

cir 10000000 bps, bc 312500 bytes, be 312500 bytes

conformed 16198013 packets, 3101878887 bytes; actions:

transmit

exceeded 0 packets, 0 bytes; actions:

drop

violated 0 packets, 0 bytes; actions:

drop

conformed 12000 bps, exceed 0000 bps, violate 0000 bps

また、ポーリングに必要なOIDを検索/確認するには、次の手順を使用します。

追加情報

SNMPを使用して、プラットフォームに関連する次のカウンタを取得できます。

- •6500:CoPPハードウェアカウンタ
- •7600:CoPPソフトウェアカウンタ

前述のように、各プラットフォームのSNMPを介してカウンタ(ソフトウェアカウンタの代わり にハードウェアカウンタ、その逆)を逆に取得しようとする場合、それは不可能です。これは、 それぞれのコードがこのように設計されており、カウンタを取得するためだけにCLIを使用する必 要があることを理解しており、代替がないためです。

関連情報

- <u>Control Plane Policing Implementation Best Practices (コントロール プレーン ポリシング実</u> 装のベスト プラクティス)
- <u>Cisco 7600シリーズルータMIB仕様ガイド</u>
- サービス拒否保護の設定
- <u>CoPPのモニタ</u>
- ・<u>テクニカル サポートとドキュメント Cisco Systems</u>